



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 日新商事株式会社  
 コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴崎 正典

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,883	27.6	260		344	594.9	182	249.3
2020年3月期第1四半期	15,034	1.0	23		49		52	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 376百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 5百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.17	
2020年3月期第1四半期	7.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,490	17,872	55.8
2020年3月期	31,229	17,570	55.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 17,561百万円 2020年3月期 17,295百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		11.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2020年3月期期末配当金11円00銭には記念配当2円00銭が含まれております。詳細は、2020年2月10日付で公表いたしました「配当予想の修正(設立70周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 現時点では、2021年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響や、原油価格の先行きが不透明なこと等により合理的に算定することが困難なことから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	7,600,000 株	2020年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	873,496 株	2020年3月期	873,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,726,504 株	2020年3月期1Q	6,726,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月に緊急事態宣言が発出されたことを受け、経済活動の停滞とともに個人消費が著しく減少し、国内の景気動向は極めて厳しい状況となりました。5月に緊急事態宣言が解除され、国内消費は経済活動が再開したことにより感染症の動向を懸念しつつも持ち直しの動きが見られますが、予断を許さない状況が続いています。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は、産油国の合意減産量では不十分との見方から4月半ばに20ドルを割り込んだ後、米国の原油在庫が減少に転じたことや経済活動再開による景気回復への期待等から6月前半に一時上昇したものの、米原油在庫の高止まりが意識されたことから、30ドル台後半で推移しました。国内石油製品価格は原油価格の動向を受けて、4月に一時下降基調で推移した後、5月に入り上昇基調で推移いたしました。国内石油製品需要は、堅調な軽油やナフサ需要があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等に伴って、ガソリンの需要が低下した影響等により、全体として前年を下回りました。

再生可能エネルギー業界におきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、脱炭素に向けた動きが再度注目されている中で、再生可能エネルギーの有効性が評価されています。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は10,883,722千円（前年同期比27.6%減）となりました。また、石油関連事業においてマージンが確保できたことに加え、再生可能エネルギー関連事業において連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所で安定した売電収入が得られたことにより、営業利益は260,275千円（前年同期は営業損失23,866千円）、経常利益は344,571千円（前年同期比594.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、182,786千円（前年同期比249.3%増）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

## &lt;石油関連事業&gt;

## (直営部門)

直営部門につきましては、当第1四半期に他社保有の1SS（サービスステーション）の運営継承を行ったものの、燃料油の販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと、またカーメンテ商材の販売が減少したこと等により、売上高は前年同期比29.4%減の4,050,846千円となりました。

## (卸部門)

卸部門につきましては、燃料油の販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比39.3%減の1,271,568千円となりました。

## (直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比28.5%減の3,773,450千円となりました。

## (産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業資材の販売は昨年度から注力していた顧客への販売が進んでいることや海外への輸出も増加したこと等により、堅調に推移いたしました。しかしながら、石油化学製品の販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比10.0%減の827,690千円となりました。

## (その他部門)

その他部門につきましては、川崎充填所の廃止に伴い液化石油ガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比44.2%減の164,977千円となりました。

以上の結果より、石油関連事業全体の売上高は前期比29.6%減の10,088,533千円となりました。

## &lt;再生可能エネルギー関連事業&gt;

再生可能エネルギー関連事業につきましては、バイオマス発電燃料であるPKS（Palm Kernel Shell：パーム椰子殻）の販売や連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所の安定した売電収入等により、売上高は増加いたしました。その結果、再生可能エネルギー関連事業全体の売上高は前年同期比53.8%増の322,717千円となりました。

## &lt;外食事業&gt;

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、新たに1店舗を開店したことや新型コロナウイルス感染症の影響によるテイクアウト需要の増加等により、売上高は増加いたしました。タリーズコーヒーストアは、外出自粛要請による休業の対応をしたこと等により、売上高は減少いたしました。その結果、外食事業全体の売上高は前年同期比9.9%減の313,943千円となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、賃貸マンションの堅調な稼働等により、売上高は前年同期比2.2%増の158,527千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、261,143千円増加し、31,490,606千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,149,124千円減少したものの、現金及び預金が862,906千円、前渡金が168,383千円、有形固定資産が80,121千円、投資有価証券及び関係会社株式が252,676千円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、41,272千円減少し、13,617,889千円となりました。これは、繰延税金負債が137,346千円増加したものの、買掛金が112,447千円、賞与引当金が98,396千円、未払金が105,458千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、302,416千円増加し、17,872,716千円となりました。これは、利益剰余金が88,202千円、その他有価証券評価差額金が180,375千円増加したことなどによるものです。この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、39.56円増加し、2,610.83円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響や、原油価格の先行きが不透明なこと等により合理的に算定することが困難なことから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,673,814	4,536,720
受取手形及び売掛金	6,919,728	5,770,604
商品及び製品	870,824	901,982
その他	854,205	1,057,426
貸倒引当金	△23,742	△17,721
流動資産合計	12,294,831	12,249,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,435,400	3,442,738
土地	5,590,071	5,590,071
その他(純額)	3,385,634	3,458,417
有形固定資産合計	12,411,106	12,491,227
無形固定資産	287,155	272,477
投資その他の資産		
投資有価証券	3,886,519	4,123,701
関係会社株式	1,215,502	1,230,995
その他	1,233,034	1,209,718
貸倒引当金	△98,688	△86,527
投資その他の資産合計	6,236,369	6,477,888
固定資産合計	18,934,631	19,241,593
資産合計	31,229,462	31,490,606
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,662,696	1,550,249
短期借入金	3,278,387	3,287,213
未払法人税等	140,612	64,008
賞与引当金	226,843	128,446
役員賞与引当金	16,150	2,230
資産除去債務	17,160	16,663
その他	1,174,088	1,296,827
流動負債合計	6,515,938	6,345,638
固定負債		
社債	744,000	744,000
長期借入金	4,546,446	4,522,620
繰延税金負債	73,826	211,173
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	964,493	976,157
資産除去債務	228,186	229,301
その他	579,970	582,698
固定負債合計	7,143,223	7,272,251
負債合計	13,659,161	13,617,889

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,844,252	9,932,455
自己株式	△643,445	△643,445
株主資本合計	16,106,431	16,194,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,265,584	1,445,960
為替換算調整勘定	△18,479	△27,808
退職給付に係る調整累計額	△57,878	△51,061
その他の包括利益累計額合計	1,189,226	1,367,090
非支配株主持分	274,641	310,990
純資産合計	17,570,300	17,872,716
負債純資産合計	31,229,462	31,490,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,034,572	10,883,722
売上原価	13,301,755	8,961,408
売上総利益	1,732,816	1,922,313
販売費及び一般管理費	1,756,683	1,662,038
営業利益又は営業損失(△)	△23,866	260,275
営業外収益		
受取利息	1,293	1,593
受取配当金	73,144	74,939
持分法による投資利益	431	—
その他	48,072	55,817
営業外収益合計	122,941	132,350
営業外費用		
支払利息	37,124	35,029
持分法による投資損失	—	2,559
その他	12,364	10,465
営業外費用合計	49,489	48,054
経常利益	49,585	344,571
特別利益		
投資有価証券売却益	45,619	—
受取保険金	25,497	—
特別利益合計	71,116	—
特別損失		
減損損失	23,089	—
工事請負契約解約損	9,400	—
固定資産除却損	—	27,129
投資有価証券評価損	—	1,801
特別損失合計	32,489	28,930
税金等調整前四半期純利益	88,212	315,641
法人税、住民税及び事業税	8,529	59,383
法人税等調整額	3,014	57,714
法人税等合計	11,543	117,097
四半期純利益	76,669	198,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,339	15,756
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,329	182,786



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	76,669	198,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,625	180,259
為替換算調整勘定	376	△9,329
退職給付に係る調整額	5,426	6,817
持分法適用会社に対する持分相当額	367	115
その他の包括利益合計	△71,454	177,864
四半期包括利益	5,214	376,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,125	340,058
非支配株主に係る四半期包括利益	24,339	36,348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,321,467	209,796	348,249	155,059	15,034,572	—	15,034,572
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	12,499	12,499	△12,499	—
計	14,321,467	209,796	348,249	167,558	15,047,072	△12,499	15,034,572
セグメント利益 又は損失(△)	△18,946	40,408	△14,733	81,528	88,256	△112,123	△23,866

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△112,123千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメントにおいて、事業所の閉鎖が決定されたこと等により、また「外食事業」セグメントにおいて事業環境の激変による収益性の悪化により、回収可能性が認められなくなった事業資産について減損損失を特別損失に計上しております。なお当該減損損失計上額は「石油関連事業」において8,049千円、「外食事業」において15,040千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,088,533	322,717	313,943	158,527	10,883,722	-	10,883,722
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	12,801	12,801	△12,801	-
計	10,088,533	322,717	313,943	171,329	10,896,523	△12,801	10,883,722
セグメント利益 又は損失(△)	246,390	48,976	△8,811	97,287	383,842	△123,566	260,275

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△123,566千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。